

(3) 地区運営の方針

<A>各クラブの現状

- ① 各クラブの高齢化
- ② 年会費が高い
- ③ 例会がつまらないので退会してしまう
- ④ 会員基盤
 - 地区内クラブ数50クラブ、地区内会員数 1625 人
 - 過去5年間で22名減少
 - 新会員の維持率99%、既存会員の維持率92%

重点項目

- ① 各奉仕プロジェクトの充実、推進を図り公共イメージの向上を行う
- ② 出来るだけ若い世代の会員増強拡大を図る
現在ロータリー会員の 70%が 50 歳以上です。
RIは「ロータリー発展のためには、例会に関する規定を和らげ、若い世代とデジタル志向の人々のニーズに応えることが重要」と指摘し、会員の増加と新クラブの結成を目指しています。
- ③ 米山奨学会、青少年交換事業の支援・推進
- ④ ロータリー財団への支援(ポリオ撲滅)
- ⑤ ロータリーの親睦、自由討論で友情と敬愛の念を深め合おう
- ⑥ 若いリーダーの参加を促進させよう
 - ・将来を見据えての若い人＝ローターアクトの存在意義
 - ・SNSを利用
 - ・大学、企業とのタイアップ
 - ・インターアクト→ローターアクト→ロータリークラブの連携の大切さ！！
 - ・ローターアクト自身で活動資金を準備し、奉仕活動を行うこと
(各大学生へのアプローチの重要性)
 - ・汗を流すことをローターアクトへお願いしたい
 - ・ビジネス関係にプラスになる
 - ・ローターアクト加入は地域貢献、リーダー、経営者への勉強になる
 - ・ミレニアル(次世代)の若者 60%はリーダーになり、社会奉仕活動をやりたい(インスパイヤー、インスピレーション)

<C>対策

- ① クラブの中で若い人たちが参加・活動できるよう企画しよう！クラブで価値観について考えよう(クラブフォーラム)
- ② 新しいクラブを作り、オープンな例会等
- ③ RYLAを通じて青少年活動の大切さを再認識すること
- ④ 若い人に投資をしよう！
- ⑤ 全てのローターアクターがロータリーに入会できるようにしよう
- ⑥ 学友の大切さを再認識すること

<D>ガバナー補佐へのお願い

- ① 石黒慶一RI理事への協力
- ② 地区行事等の出席
- ③ クラブ訪問 4 回以上
- ④ ガバナー公式訪問の設定並びに同行
- ⑤ フォーラム例会の奨励
- ⑥ 充実したIM(Intercity Meeting)の企画運営
- ⑦ クラブにおける短期および中長期計画の策定支援

<E>地区委員会への要望と期待

(イ) 各委員会の出席会員のキャリア、ロータリー歴等を参加申込書に記入してもらいます。参加者の目線に合わせて、参加者が研修した事をクラブで話せるようにしていただきたい。

(ロ) 各種委員会は、会員が参加型に出来るようにし、楽しみと感動を持ち帰れるようにしていただきたい。

(ハ) 年間の各ロータリー月間の月は、ガバナー月信とは別に、大・小委員長から各クラブ会長宛に文章を作成して、例会で会長あいさつの中で話してもらおうようにしてください。

(ニ) 各委員会とも、テーマについて話し合いの場をつくってください。

(ホ) PETS、地区研修・協議会、各種委員会等の資料、式次第については、早めにガバナー事務所へ文章を送付してください。

※出来る限り、Word 文書でメールに添付して送付してください。

①クラブ奉仕委員会

- クラブの規模に関わらず、情報が伝わる委員会構成と組織をシンプルにし、奉仕活動ができるようにしてください。
- メイクアップを積極的に進め、見解を広めるようにしてください。
- スマイル・ニコニコボックスの推進を図り、奉仕活動の資金にしてください。

① 会員増強委員会

- 各クラブ 2 名以上の純増
- 入会 3 年未満の会員への配慮(退会防止の具体策)
- できるだけ若い世代の入会を促す

② 職業奉仕委員会

- ロータリアンの行動規範の周知

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける

- 地区研修等での企画・運営を十分討議すること

④青少年奉仕委員会

- 全委員でインターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換、学友小委員会へ支援

⑤社会奉仕委員会

- 地区補助金活用の推進

⑥国際奉仕委員会

- グローバル補助金の理解と推進

⑦米山奨学・学友委員会

戦前の日本ロータリーの思想形成の上で、ずば抜けたロータリアンは古沢丈作でしょう。

昭和3年(1928年)、中国満州の大連にロータリークラブができました。大連の中心企業は満鉄で、その初代会長は松岡洋介氏です。この大連クラブに、日清製油の大連支店長で取締役でもあった古沢丈作という若手の実業家がありました。彼はロータリークラブに入会できたことを大変名誉に思い、ロータリー運動の核になるものは何だろうかと勉強していたところ、1915年サンフランシスコの大会で決議された「全職業人を対象とするロータリー職業倫理訓(道德律)」に辿り着いたのです。その職業倫理訓こそロータリーの核だと確信した古沢氏は、日夜これを読んで、倫理訓の躍動する思考を自分の心に会得するに至りました。彼は、その会得したところを日本語に書き表そうと考え、五箇条からなる「ロータリーの倫理宣言」をまとめ上げ、それが昭和3年の大連ロータリー宣言となったのです。それは、「ロータリーの思考の真髓を日本語に表したらどういふものになるか」という手本でした。もともと大連クラブだけのことでしたが、たまたま米山梅吉ガバナーの目に触れ、昭和5年の地区大会で米山ガバナーはこのロータリークラブ宣言を絶賛し、古沢氏をロータリアンの鏡と称えました。こうした事情から、この大連宣言は、戦前のロータリアンのロータリー理解の一つとして使われるようになったのです。元々は、古風な文語調ですが、分かりやすく要約すると以下の通りです。

「①職業人である前に、道義を重んじる人であれ。②自らの事業経営に全力を傾注するのは、社会に貢献するためである。③ロータリーは、道義を無視して事業を成功させたい人の味方ではない。④事業の成功を考える前に、社会への義務を果たすことを考え、奉仕に専念せよ。⑤自分の得を考える前に、他人に与えることを考えよ。⑥最もよく奉仕するものは最も多く報われることを、疑ってはならない。⑦特別な関係を利用するなどして大儲けするのは最も恥ずべき行為である。⑧ロータリー精神に反して、ロータリーの信条を踏み外すことは、儲けるために道義を踏み外すのと同じである。」

古沢丈作は、その後、東京クラブに入って1952年に会長を務めた際、米山梅吉氏の遺徳を偲んで米山奨学金制度を作りました。

○セミナー企画、運営及び寄付の推進

⑧ロータリー財団委員会

- 補助金セミナー、財団セミナーの開催を行い、会員の理解を図る
- 財団学友への働きかけ
- 財団寄付の推進(1人年間150\$目標)

<F>クラブ会長へのお願い

- ①クラブは会長の1年間のリーダーシップによって決まります。
まずエレクトになったら、年次計画をクラブのバイブルとして年度の始めに、全会員の前で意思の統一の為、話してください。その為に、計画書の作成をクラブ活性化の為に、役員、理事、委員長とみんなで充分に話し合っ、内容の充実した計画書を作ってください。

- ②年次計画には資金調達計画も含まれます。
 - ・メンバーに極力理解して頂き、情報を全てオープンにして会費から頂く
 - ・協賛依頼(他ロータリー、一般企業、個人の方々等)
 - ・チャリティイベント、チャリティオークション等、積極的に開催する
 - ・メディアを利用し募金活動を行う

- ③イメージ向上活動は、会員が楽しみと喜び、感謝と感動の為に、ブラッシュアップしてマスコミ等に取り上げてもらい、各クラブが地域との密着を高めてください。

- ④2016年規定審議会への対応
 - (イ)例会日と時間を柔軟に
 - (ロ)例会を変更または取り消す
 - (ハ)奉仕プロジェクトまたは親睦行事を例会としてみなす
 - (ニ)顔を合わせる例会またはオンラインの例会のどちらか、または、それを交互に行ったり、両方の形式を採用する
 - (ホ)出席要件と出席率の悪い会員に関する方針を緩めるか、厳しくするか、クラブ細則を修正する

- ⑤ロータリークラブ・セントラル:2016-17年度アップグレード版の活用をクラブに促す
 - (イ)会員増強、奉仕活動、ロータリー財団寄付における地元と全世界での影響をクラブと地区が測ることができる
 - (ロ)見やすいグラフや表で過去と今年度の目標と進捗を1か所で簡単に把握できる
 - (ハ)クラブと地区が目標を立て、会員傾向を知り、進捗状況を確認し、ロータリー賞

- (会長賞)の項目を達成し、長期的な計画を立てるのに役立つ
- (ニ)新しくモダンなインターフェイスで新鮮なデザインに
 - (ホ)個々のクラブが力を入れたい目標(会員増強やロータリー賞〔会長賞〕項目など)に絞って計画を立て、進捗を確認できる
 - (ヘ)クラブでの情報の透明性を促進できる。クラブの情報とデータを会員なら誰でも閲覧できるため、全会員が同じ目標に向けて協力し、会員とリーダーの間の信頼関係を築くことができる
 - (ト)クラブのリーダーは毎年交代するが、ロータリークラブ・セントラルがあれば、過去の目標と達成状況を簡単に確認できる。これにより、リーダーシップの継続性が保たれ、リーダーの交代がスムーズになる
 - (チ)ロータリー財団の寄付目標を地元通貨(日本の場合は日本円)で入力できる